

2024年12月24日

お知らせ

関係者各位

株式会社方丈社

弊社書籍『私たちは売りにたくない!』（チームK著）に対して、Meiji Seika ファルマ株式会社が2024年12月19日に発表したニュースリリース「書籍に関する社内調査より判明した事実について」への見解をお知らせいたします。

上記リリースでは、ペンネームを「チームK」としたことについて言及されていますが、この点については次のとおりです。

著者は2021年9月に同社の若くて健康な社員がコロナワクチン2回目接種の3日後に亡くなった後に、レプリコンワクチンを発売するという会社の方針に危惧を覚えていました。この新製品は既存のmRNAワクチンと安全性が同等とされるため、同様の悲劇が再び起きてはならないと考えたからです。同じように考えていた社員は著者以外にも複数おり、これがペンネームの由来の一つでもあります。

このペンネーム使用は、現役社員である同社員が特定されることによって被りうる不利益を回避する手段になると考えられます。本書籍は国民の命や健康に関わる大切な情報が記載されているもので、高い公共性・公益性を持つ内容ですが、この情報が広く行き渡るためにも著者の保護は優先されるべきものでした。

ペンネームを「チームK」としたことで本書の価値が減じられるものではなく、筆者の属性によって内容が客観的事実に反することになるわけでもありません。

また、Meiji Seika ファルマ社への誹謗中傷や悪質な印象操作を意図したものでも全くありません。

「チームK」の「K」は、故人のイニシャルから取ったものですが、亡くなられた社員のご遺族からも「著者が特定されないよう協力したい」とのお気持ちをいただき、「チーム」と冠することについても了解いただいております。

著者には、自らが属するMeiji Seika ファルマ株式会社の名を貶めようという気持ちは一切ありません。むしろ会社のこれまでの歴史と伝統に誇りを持っており、むしろ今回のレプリコンワクチンが、自社に想定外の影響を与えてしまうのではないかと危惧して本書を執筆したものであることを、著者に成り代わって申し添えます。

みなさまにはご理解のうえ、ご高配いただきますようお願い申し上げます。

以上